

愛国浄水場更新事業

審査講評

平成27年3月10日

釧路市愛国浄水場更新事業者選定委員会

釧路市愛国浄水場更新事業者選定委員会（以下「当委員会」という。）は、愛国浄水場更新事業（以下「本事業」という。）に関して、落札者決定基準（平成26年8月29日公表、平成26年9月30日第1回変更版公表）に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

平成27年3月10日

釧路市愛国浄水場更新事業者選定委員会

委員長	眞柄 泰基
委員	小笠原 紘一
委員	佐野 修久
委員	松井 佳彦

目 次

1. 当委員会の設置	1
2. 当委員会の開催経緯	1
3. 審査の方法	2
4. 審査の結果	2
(1) 入札参加者	2
(2) 入札価格の確認	2
(3) 基礎審査	2
(4) 技術審査	3
(5) 総合評価点の算定	4
5. 優秀提案者の選定	4
6. 提案に対する評価の概要	4
7. 総評	6

1. 当委員会の設置

当委員会の構成は、以下の通りである。

- (委員長) 眞柄 泰基 学校法人トキワ松学園理事長
- (委員) 小笠原 紘一 全国簡易水道協議会技術アドバイザー
- (委員) 佐野 修久 釧路公立大学地域経済研究センター教授
- (委員) 松井 佳彦 北海道大学大学院工学研究院環境創生工学部門教授

2. 当委員会の開催経緯

当委員会の開催経緯は、以下の通りである。

選定委員会	開催日	内容
第1回	平成26年 5月16日	<ul style="list-style-type: none">・委員長の選出・実施方針(案)の審議・要求水準書(案)の審議・選定委員会の開催日程の確認
第2回	平成26年 6月17日	<ul style="list-style-type: none">・実施方針(訂正版)の審議・要求水準書(訂正版)の審議・落札者選定基準(案)の審議
第3回	平成26年11月20日	<ul style="list-style-type: none">・落札者決定基準に基づく二次審査(水処理技術提案審査)の審議
第4回	平成27年 2月19日	<ul style="list-style-type: none">・入札価格の確認結果の報告・要求水準達成確認の報告・技術提案書の審議
	平成27年 2月20日	<ul style="list-style-type: none">・応募グループへのヒアリング・落札者決定基準に基づく優秀提案者の決定<ul style="list-style-type: none">・各審査項目の審議・総合評価点の確定・優秀提案の選定・今後の予定確認

3. 審査の方法

優秀提案者の決定は、本事業において釧路市（以下「市」という。）が求める資格の有無を判断する一次審査（入札参加資格審査）と水処理技術等のフロー、考え方等を審査する二次審査（水処理技術提案審査）、入札価格及び各業務に関する具体的な提案内容を審査する三次審査（入札価格の確認、基礎審査、技術審査）により実施した。

一次審査にあたっては、入札参加者（以下「応募グループ」という。）の参加資格について、市が入札説明書等（平成26年8月29日公表、平成26年9月30日第1回変更版公表）の参加資格要件に基づき内容を確認した。

二次審査にあたっては、市が基礎審査を行ったうえで、当委員会が応募グループから提出された水処理技術提案書の審査を行った。

三次審査にあたっては、市が基礎審査を行ったうえで、当委員会が応募グループから提出された技術提案書の審査、ヒアリングにより加点評価を行い、価格評価を加えた総合評価により優秀提案を選定した。

4. 審査の結果

(1) 入札参加者

本事業における応募グループは、以下のグループであった。

応募グループ	代表企業
メタウォーターグループ	メタウォーター株式会社

(2) 入札価格の確認

応募グループの入札価格（消費税及び地方消費税は含まない）は、次に示すとおりである。

平成27年1月20日に入札価格が市の予定価格の制限範囲内であること、低入札調査基準価格を上回ることを確認を行った。

応募グループ	入札価格（消費税及び地方消費税は含まない）
メタウォーターグループ	10,834,000,000円

(3) 基礎審査

応募グループから提出された技術提案書の各様式に記載された内容が、業務要求水準書（平成26年8月29日公表、平成26年9月30日第1回変更版公表）に示す要件をすべて満たしていることを市が確認した。

(4) 技術審査

応募グループから提出された技術提案書の内容について、落札者決定基準で公表された審査項目、得点化基準に基づく評価、及び応募グループが1者の場合の妥当性の評価を行い、評価に応じて定性的審査の点数を付与した。

(選定委員会の技術評価の点数)

分類	審査項目	配点	応募グループの 得点
1.事業計画	事業推進の確実性	60	36.0
	事業のリスク管理	40	22.0
	計	100	58.0
2.浄水場更新	水処理施設設計	265	185.5
	水処理電気計装設備設計	80	32.0
	土木建築設計	35	10.5
	環境への配慮	20	8.0
	工事・施工計画	20	8.0
	計	420	244.0
3.浄水場の維持管理	保守点検	20	10.0
	修繕・消耗品調達	20	10.0
	薬品調達管理	30	15.0
	膜ろ過薬品洗浄	50	25.0
	その他維持管理	30	15.0
	計	150	75.0
4.その他の事項	地域貢献	30	15.0
	計	30	15.0
合計		700	392.0

(5) 総合評価点の算定

当委員会において、価格評価点及び技術評価点を合計して、総合評価点を算定した。なお、応募グループが1者であることから提案内容の妥当性評価、事業実施するにあたっての付加条件を提出した。

(総合評価得点の算出結果)

項目	得点 (点)
価格点	300.0
技術評価点	392.0
計	692.0
提案内容の妥当性	妥当性あり
事業実施条件	技術提案書に関する軽微な改善事項に対応すること

5. 優秀提案者の選定

当委員会は、メタウォーターグループを優秀提案者として選定した。

代表企業	メタウォーター株式会社 北海道営業所
構成企業	北海道富士電機株式会社
構成企業	株式会社太平洋製作所
構成企業	北電工業株式会社
構成企業	水 i n g 株式会社 北海道支店
協力企業	株式会社東京設計事務所 東京支社

6. 提案に対する評価の概要

提案に対する選定委員会での評価の概要は次のとおりである。

(1) 事業計画 (事業推進の確実性とリスク管理)

- ・ 浄水場更新事業にかかる十分な実績があり、事業を推進できる計画、体制となっている点が評価された。
- ・ リスク管理、工事期間中のJV及びSPCの資金調達(資本金、予備費の計画)については、要求水準を満たしていたが一部検討すべき事項が見られた。

(2) 浄水場更新

①水処理施設設計

- ・ 実証実験に基づいた具体的な提案となっている点が高く評価されたが、一部提案書の表記ミスや説明不足の点が見られた。

②水処理電気計装設備設計

- ・ システムの2重化など具体的な提案について評価され、要求水準を満たしていたが一部説明不足の点が見られた。

③土木建築設計

- ・ 用地の制約や高さ制限等の厳しい条件下で浄水施設の建設を可能とする点、災害対策について具体的な提案となっている点は高く評価されたが、動線の考え方、部屋の大きさ等について一部修正を要する点が見られた。

④環境配慮

- ・ 省資源・省エネルギーについて具体的な提案となっており、要求水準を満たしていた。

⑤工事・施工計画

- ・ 施工手順、試運転計画について、要求水準を満たしていた。

(3) 浄水場の維持管理

①保守点検

- ・ 体制、考え方、頻度の具体的な提案について評価され、要求水準を満たしていたが、運転マニュアル変更の対応について説明不足の点が見られた。

②修繕・消耗品調達

- ・ 対象、頻度の具体的な提案について評価され、要求水準を満たしていた。

③薬品調達管理

- ・ 購入計画の具体的な提案について評価され、要求水準を満たしていた。

④膜ろ過薬品洗浄

- ・ 実証実験に基づく洗浄方法の具体的な提案について評価され、要求水準を満たしていたが洗浄回数、リンス工程に説明不足の点が見られた。

⑤その他の維持管理

- ・ 災害及び事故対応、事業終了時の引継ぎなど具体的な提案について評価され、要求水準を満たしていた。

(4) その他の事項（地域貢献）

- ・ 地域資材の調達、技術継承、地域活動への参加の具体的な提案に加え、釧路市阿寒百年水の購入、観光活動への参加の提案について評価された。

7. 総評

本事業は、釧路市上水道事業における根幹の浄水場である愛国浄水場を全面更新し、良質で安全・安心な水を安定供給することを目的として、民間事業者に調査、新設施設・撤去施設に関する基本設計、水処理プラント設備に関する詳細設計、水処理プラント設備に関する建設及び水処理プラント設備に関する維持管理業務を一括で委託するDBM方式により発注するものである。

新釧路川から取水している愛国浄水場の原水は、上流部の湿原や酪農地帯の影響を受け、全国的にも類がない浄水処理が困難な水質となっている。

これに対し、将来にわたって安全な浄水供給を目標とした浄水処理システムを構築するためには、国内外最高レベルの技術の導入が必要である。今回の募集では、水処理プラント企業を代表とし、地元企業2社を含む5社を構成企業とした1グループから応募があり、地域に根ざした良質で安全・安心な水の安定供給を提案いただいた。加えて、本事業は現状の浄水処理を止めることなく、現地の限られた敷地内で更新を行うことから、用地の制約や高さ制限等の厳しい条件下で浄水施設の建設を可能とする提案を高く評価する。また、浄水処理性能に優れるだけでなく、長寿命かつ耐久性、維持管理性に優れたセラミック膜の採用は、市が目指す「未来を支え続ける安全で安定した信頼される水道」の実現に寄与するものと評価したところである。

提案の内容としては、要求水準は満たしているが軽微な改善や今後具体的に検討すべき事項はあるものの、国内外最高レベルの技術を駆使した提案は妥当と評価した。

今後、選定事業者においては、本事業を実施するに際し、市及び関係機関と十分に協議を行い、今回当委員会から提示した事業実施条件を踏まえたうえで、提案内容を確実に履行するとともに、良質で安全・安心な水を安定供給する北海道初の浄水場更新DBM事業としてよりよい成果を上げることを望む。

最後に選定委員会として、市と選定事業者の本事業への熱意と努力に対して敬意を表する次第である。

釧路市愛国浄水場更新事業者選定委員会

委員長 眞柄 泰基